

エコアクション21(EA21)

# 環境経営レポート

2021年度  
(2021年2月～2022年1月)



千葉工場



本社新社屋 (2022年10月完成)



本社新社屋の玄関

作成 : 2022年 4月 29日  
改訂 : 2022年 10月 14日



株式会社 小名木川ギヤー



認定・登録番号 0004209

承認	作成
代表取締役 社長	環境事務局 課長

# I. 組織の概要

## 会社概要

### 1. 事業所名及び代表者

株式会社 小名木川ギヤー  
代表取締役社長 岩崎 厚三

### 2. 所在地

本社；〒135-0003 東京都江東区猿江1丁目2番7号  
TEL 03-3631-0037(代)  
FAX 03-3635-0868  
E-mail ong@green.ocn.ne.jp  
千葉工場；〒299-4111 千葉県茂原市萱場1525番地  
TEL 0475-34-4536(代)  
FAX 0475-34-4568  
E-mail ongchb@peach.ocn.ne.jp  
大網分工場；〒299-3251 千葉県大網白里市大網1803番地  
TEL 0475-73-1816  
FAX 0475-71-2063

### 3. EA21責任者・連絡先

環境管理責任者 担当課長 岩崎 洋明 E-mail h\_iwasaki@onagigawa.co.jp  
環境事務局 担当課長 岩崎 洋明 E-mail h\_iwasaki@onagigawa.co.jp  
TEL 0475-34-4536(代)  
FAX 0475-34-4568

### 4. 事業の規模

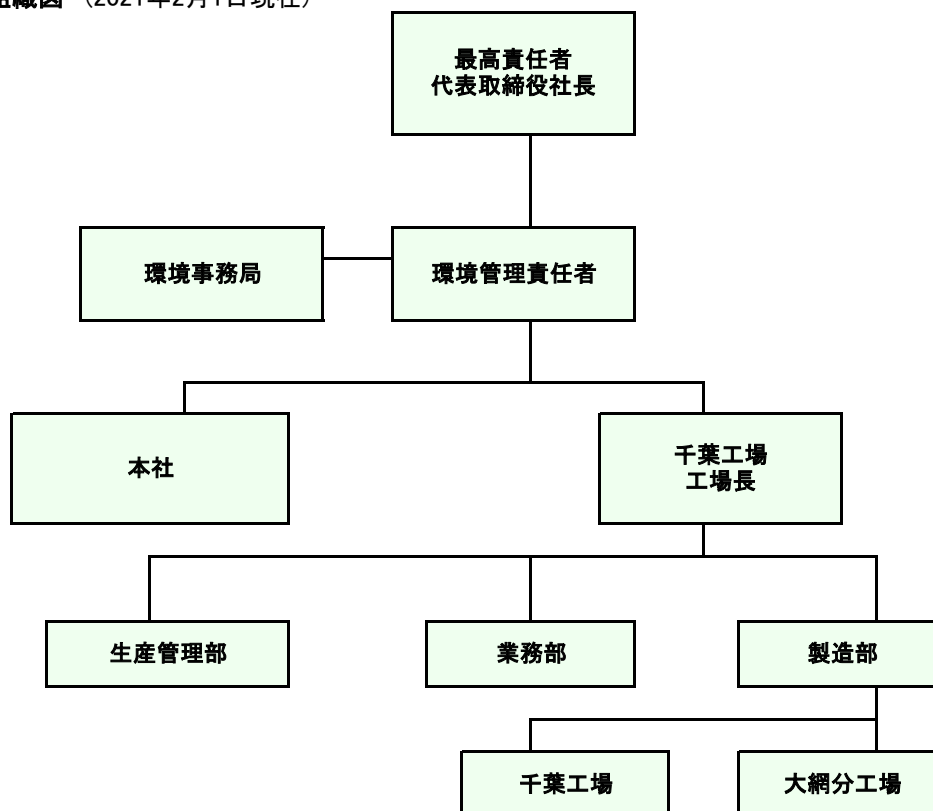
従業員数 72名 (2022年 1月)  
売上高 1,568百万円 2021年度(2021年2月～2022年1月)  
敷地面積 本社 366 m<sup>2</sup>  
千葉工場 7,874 m<sup>2</sup>  
大網分工場 1,468 m<sup>2</sup>  
床面積 本社 195 m<sup>2</sup>  
千葉工場 3,841 m<sup>2</sup>  
大網分工場 1,282 m<sup>2</sup>

### 5. 環境負荷の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	百万円	1,967	1,411	1,568
生産数量	トン	2,986	2,283	2,650
従業員数	人	89	89	73
電気使用量(全社)	kWh	1,653,421	1333.075	1,482,500
灯油使用量(工場)	ℓ	32,820	29,587	19,356
軽油使用量(工場)	ℓ	24,361	22,437	31,647
ガソリン使用量(全社)	ℓ	21,462	16,140	16,105
LPG使用量(工場)	kg	595	924.76	728
CO <sub>2</sub> 排出量(全社)	t-CO <sub>2</sub>	1,175	1,044	824
一般廃棄物排出量(工場)	kg	22,603	17,299	20,006
産業廃棄物排出量(工場)	トン	248	210	167
水使用量	m <sup>3</sup>	1,312	1,068	1,016

## 6. 実施体制

(1) 組織図 (2021年2月1日現在)



(2) 責任と権限

社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 環境レポートの発行責任者 6. 課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置 2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者 4. 環境レポートの作成責任者
EA21事務局	1. 環境経営システムの手続き等を遂行 2. 契約業務等事務処理、環境活動からのデータ収集
部門長	1. 部門の環境活動の責任者 2. 自部門の実施状況を日常的に点検し、改善を指導する
工場長	1. 工場における現場指揮及び実績管理 2. ライン運転、製造、保管及びEA21活動現場責任者
従業員	1. 自部門の目標を実行し、改善に努める

## II, 対象範囲

- 対象事業所: 本社, 千葉工場, 大網分工場
- 事業活動: 歯車の製造

## Ⅲ、環境経営方針

### 基本理念

### 我らの地球を守ろう！

当社は、地球環境保全が全人類にとって最大重要課題であることを深く認識し、事業活動のすべての面で環境に配慮した行動に努め、同時に地域社会との調和を保ちながら事業を推進・発展させていくことを目指します。

### 基本方針

1. 歯車製造の事業活動を通じて環境経営システムを構築し、課題とチャンスを踏まえ、人と地球に優しい事業活動の推進と環境負荷の低減に継続的に努めます。
2. 環境に関する法規制を遵守し、環境汚染の防止と環境保全に努めます。
3. 当社が行なう環境活動は、以下を重点的に行っていきます。
  - 1) 工場、事務所内での省資源・省エネルギーの取り組み。
  - 2) 生産活動にともなう加工不良、廃棄物、排出物の削減。
  - 3) 節水、切削油・灯油等の管理強化。
  - 4) 化学物質削減、若手社員の技術力向上及び技術伝承。
4. 本方針に基づき環境目標を定め、環境活動計画に従って自主的かつ積極的な活動を展開するとともに、必要があれば環境方針の見直しを実施します。
5. 本方針を従業員および協力企業に周知するとともに、当社の活動を示した活動レポートを作成し、社外に公表します。

制定 2010年 1月 27日

改定 2021年 2月 1日

株式会社 小名木川ギヤー

代表取締役 岩崎 厚三

## IV. 環境経営目標

1.2018年度～2021年度中期3カ年計画（当初計画）（2021.10.15制定）

項目	単位	2020年度 (実績値)	2021年度 (目標値)	2022年度 (目標値)	2023年度 (目標値)
電気使用量(本社)	kWh/年		97%	90%	90%
		7,954	7,715	7,159	7,159
電気使用量(千葉工場)	kWh/年		110%	115%	120%
		1,143,433	1,257,776	1,314,948	1,372,120
	kWh/生産量	501	501	451	501
電気使用量(大網分工場)	kWh/年		110%	115%	120%
		181,708	199,879	208,964	218,050
	kWh/生産量	80	80	80	80
電気使用量(全社合計)	kWh/年		110%	115%	120%
		1,333,095	1,465,370	1,531,071	1,597,328
	kWh/生産量	584	584	437	583
灯油使用量	L/年		95%	90%	90%
		22,437	21,315	20,193	20,193
	L/生産量	9.83	8.49	7.69	7.37
軽油使用量	L/年		120%	120%	120%
		29,587	35,504	35,504	35,504
	L/生産量	12.97	14.14	13.53	12.97
ガソリン使用量	L/年		105%	110%	115%
		15,140	15,897	16,654	17,411
	L/生産量	6.63	6.33	6.35	6.36
LPG使用量	L/年		100%	95%	90%
		1,139	1,139	1,082	1,025
	L/生産量	0.50	0.45	0.41	0.37
温室効果ガス排出量(注)	kg-CO2/年		110%	103%	104%
		759,621	831,982	859,520	890,259
	kg-CO2/生産量	333	331	328	325
水使用量 (千葉・大網合計)	m <sup>3</sup> /年		90%	90%	95%
		1,068	961	961	1,015
	m <sup>3</sup> /生産量	0.468	0.383	0.366	0.371
一般廃棄物排出量	kg/年		90%	95%	90%
		17,299	15,569	16,434	15,569
	kg/生産量	7.58	6.20	6.26	5.69
産業廃棄物排出量	t/年		100%	90%	95%
		214	214	193	203
	t/生産量	0.094	0.085	0.073	0.074
生産量	t/年	2,282	2,510	2,624	2,738
化学薬品管理	%	100%	100%	100%	100%

注：電力の排出係数は本社は0.731kg-CO2/kWh(エバグリーンレタイリング)、工場は0.440kg-CO2/kWh(エバグリーンマーケティング)、  
夫々、令和3年1月7日政府公表の令和元年度算定用係数を用いています。

### 中期計画の主要なポイント

- ① 生産量は徐々に増加の傾向です。2021年度は2020年度の10%増加とし、以降は5%の増加とします。
- ② 本社の電気は2021年度は2020年度の3%削減とし、以降は2020年度の10%削減を維持します。  
工場の電気関係は2021年度は2020年度の10%の増加とし、以降は5%の増加とします。灯油は5%減少、軽油
- ③ 2021年度の灯油は2020年度の5%減少、以降は2020年度の10%削減とします。
- ④ 2021年度の軽油は2020年度の10%の増加とし、その後は同量を維持します。
- ⑤ 2021年度のガソリンは2020年度の5%増加とし、以降も5%増加とします。
- ⑥ 2021年度のLPGは2020年度を維持し、以降は5%削減とします。
- ⑦ 2021年度の水は2020年度の10%減として、原単位の減少を目指します。
- ⑧ 2021年度の一般廃棄物は2020年度の10%減とし、原単位の削減を目指します。
- ⑨ 2021年度の産業廃棄物は2020年度は数値を維持し、原単位の削減を目指します。
- ⑩ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

## V. 環境経営計画の主要な取組内容

### 1. 主要な環境経営計画の内容

No.	項目	活動内容
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
		④エア配管系のエア漏れ点検修理
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)
		②社有車の計画的運行
		③省エネ社有車の導入
4	軽油使用量	①輸送ルート of 事前検討励行(運行管理者による日常指導)
		②エコドライブの遵守
5	LPG使用量	①ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		②手洗い等のお湯使用時の節約
6	二酸化炭素排出量	①節電活動
		②エコドライブの遵守
		③灯油、LPGの適正使用
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更
		②コピーの縮減、裏紙利用促進
		③分別励行による可燃物縮減
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油・段ボールのリサイクルの促進
		②廃棄物の分別徹底
		③廃棄物発生源対策立案と実施
		④破損パレット返却励行
9	緊急事態対応訓練	2020年度 初期消火訓練
		2021年度 防火・防災訓練
		2022年度 地震発生対応訓練
10	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け
		②朝礼等にて啓蒙活動
11	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定
		②納入品のグリーンマーク確認



## VI. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境活動計画

### 【1】2021年度環境活動の実績

評価 ◎:110%以上達成、○:100%~109%達成、△:97%~99%達成、×:96%以下

項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価	コメント
電気使用量(本社)	kWh/年	7,715	7,205	107%	○	節電を徹底した。
電気使用量 (千葉工場)	kWh/年	1,257,776	1,298,382	97%	×	工場内のレイアウトの変更により、加工量の増加などがあり、使用量が増加した。
	kWh/生産量	501.11	489.96			
電気使用量 (大網分工場)	kWh/年	199,879	176,913	113%	◎	機械の千葉工場への移管により、加工数量の減少があり、使用量が減少した。
	kWh/生産量	79.63	66.76			
電気使用量 (全社合計)	kWh/年	1,465,370	1,482,500	99%	△	生産量増加に伴い電気使用量も予想より増加した。
	kWh/生産量	583.81	559.43			
灯油使用量	L/年	21,315	19,356	110%	◎	工場内のレイアウトの変更により、暖房器具の配置などの移動により、無駄のないようになった。
	L/生産量	10.80	3,647.00			
軽油使用量	L/年	35,504	31,647	112%	◎	生産数量の増加に伴い、運搬車両の使用方法に改善をした。
	L/生産量	14.15	11.94			
ガソリン使用量	L/年	15,897	16,105	99%	△	生産数量の増加に伴い、フォークリフトの使用方法や得意先の打ち合わせ方法の変化などあり、営業車の使用も減少した。
	L/生産量	6.33	6.08			
LPG使用量	kg/年	1,139	728	156%	○	給湯施設やシャワー施設の適正利用が徹底した。
	kg/生産量	0.40	0.27			
温室効果ガス排出量(注)	Kg-CO2/年	1,149,012	824,660	139%	◎	生産数量の増加でエネルギー使用量が増加したが、電気量の排出係数の減少で、目標を下回った。
	kg-CO2/生産量	457.77	311.19			
水使用量	m <sup>3</sup> /年	961	1,016	95%	×	工場内レイアウト変更に伴う工事等で使用がました。
	L/生産量	0.38	0.38			
一廃排出量	kg/年	15,569	20,006	78%	×	同上に伴うゴミが発生した。
	kg/生産量	6.20	7.55			
産廃排出量	t/年	214	167	128%	○	産廃の分別徹底で目標を達成した。
	t/生産量	0.085	0.063			
生産量	t/年	2,510	2,650	106%	○	コロナ禍からの脱却で受注が増した。
化学薬品管理	%	100	100	100%	○	PRTR物質の購入量を把握した。
グリーン購入	%	100	100	100%	○	事務用品を中心に環境配慮製品を購入した。

注：電力の排出係数は計画では0.731kg-CO<sub>2</sub>/kWh(エバグリーンレタイリング)、工場は0.440kg-CO<sub>2</sub>/kWh(エバグリーンマーケティング)、夫々、令和3年1月7日政府公表の令和元年度算定用係数を用いていました。

しかし、電力会社からの単価変更があり急遽東京電力エナジーパートナー(株)にすべて変更したので2021年度実績は同社のR1年度調整後の排出係数0.442kg-CO<sub>2</sub>を使用しました。

### 【2021年度環境経営目標達成状況】

- ① 生産量は、昨年の減少をカバーするように増加の傾向が表れて目標を達成しました。
- ② 電気使用量は、増産の影響もあり目標に対しては未達成した。
- ③ 灯油、軽油、ガソリン、LPGは使用量の低下を維持して目標を達成しました。
- ④ CO<sub>2</sub>排出量は電気使用量、軽油使用量の削減により目標を達成しました。
- ⑤ 水は、レイアウト変更等で未達成となりました。
- ⑥ 一廃はレイアウトの変更等で未目標でした。一方、産廃は分別の徹底で目標を達成しました。
- ⑦ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価しました。

### 【2】2021年度主要な環境経営計画の結果

No.	項目	活動内容	評価
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)	○
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)	
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)	
		④エア配管系のエア漏れ点検修理	
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)	○
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)	
		③洗浄油再利用の活性化	
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)	○
		②社有車の計画的運行	
		③省エネ社有車の導入	
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)	○
		②エコドライブの遵守	
5	LPG使用量	①ガストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)	○
		②手洗い等のお湯使用時の節約	
6	二酸化炭素排出量	①節電活動	○
		②エコドライブの遵守	
		③灯油、LPGの適正使用	
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更	×
		②コピーの縮減、裏紙利用促進	
		③分別励行による可燃物縮減	
9	緊急事態対応訓練	2020年度 初期消火訓練	—
		2021年度 防火・防災訓練	○
		2022年度 地震発生対応訓練	—
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油・段ボールのリサイクル	○
		②廃棄物の分別徹底	
		③廃棄物発生源対策立案と実施	
		④破損パレット返却励行	
9	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け	○
		②朝礼等にて啓蒙活動	
10	調達品のグリーン 購買	①注文時にグリーン用品を指定	○
		②納入品のグリーンマーク確認	

評価:◎大変良く実施した。○良く実施した。△まだ改善の余地がある。×活動に不足がある。

### 【環境経営計画の達成度】

- ① 2021年度は工場内レイアウト変更等で増加しました。目下、外注からの納品をコンテナ化するなどの取り組みを検討しているので今後削減が期待されます。
- ② 千葉工場では火災・防災訓練を実施しました。



火災発生



緊急避難と集合



消火栓操作訓練



工場長訓示



- ② ちばSDGsパートナーに登録されました。  
 (登録番号:1136 )  
 当社はEA21活動を通してSDGs活動を展開します。



① 環境の側面  
SDGsゴール7,13



節水活動、節電活動、エコドライブを実施し、持続可能な社会づくりを進めます。

② 社会の側面  
SDGsゴール 3



製品の安全性の維持向上に努めます。

③ 経済の側面  
SDGsゴール  
11、12、17



廃棄物処理において適正処理に努めます。又、EA21活動やSDGsの普及に努めます。

### 3. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

#### (1) 2022年度環境経営目標の見直し

項目	単位	2021年度 (実績値)	2022年度 (当初目標値)	2022年度 (改定目標値)	
電気使用量(本社)	kWh/年	7,205	7,159	7,205	
電気使用量 (千葉工場)	kWh/年	1,298,382	1,314,948	1,349,668	
	kWh/生産量	489.96	501.12	485.06	-1%
電気使用量 (大網分工場)	kWh/年	176,913	208,964	183,901	
	kWh/生産量	66.76	79.64	66.09	-1%
電気使用量 (全社合計)	kWh/年	1,482,500	1,531,071	1,540,774	
灯油使用量	L/年	19,356	20,193	20,121	
	L/生産量	7.30	9.83	7.23	-1%
軽油使用量	L/年	31,647	35,504	32,897	
	L/生産量	11.94	17.29	11.82	-1%
ガソリン使用量	L/年	16,105	16,654	16,741	
	L/生産量	6.08	8.11	6.02	-1%
LPG使用量	L/年	728	1,082	757	
	L/生産量	0.27	0.41	0.27	-1%
温室効果ガス排出量(注)	kg-CO <sub>2</sub> /年	824,660	1,149,012	857,107	
	kg-CO <sub>2</sub> /生産量	311	438	308	
水使用量 (千葉・大網計)	m <sup>3</sup> /年	1,016	961	1,056	
	m <sup>3</sup> /生産量	0.38	0.37	0.38	-1%
一廃排出量	kg/年	20,006	16,434	20,796	
	kg/生産量	7.55	6.26	7.47	-1%
産廃排出量	t/年	167	193	174	
	t/生産量	0.06	0.07	0.06	-1%
生産量	t/年	2,650	2,624	2,783	+5%
化学薬品管理	%	100%	100%	100%	
グリーン購入	%	100%	100%	100%	

新社屋の実績把握

2021年度の電力会社は依然契約していた電力会社からの単価値上げの問題がありすべて東京電力エナジーパートナーに変更しましたので、2022年度の電力排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)のR1年度調整後排出係数0.442を使用します。

(1) 2022年度環境経営計画

No.	項目	活動内容
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
		④エア配管系のエア漏れ点検修理
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)
		②社有車の計画的運行
		③省エネ社有車の導入
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)
		②エコドライブの遵守
5	LPG使用量	①ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		②手洗い等のお湯使用時の節約
6	二酸化炭素排出量	①節電活動
		②エコドライブの遵守
		③灯油、LPGの適正使用
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更
		②コピーの縮減、裏紙利用促進
		③分別励行による可燃物縮減
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油・段ボールのリサイクル
		②廃棄物の分別徹底
		③廃棄物発生源対策立案と実施
		④破損パレット返却励行
9	緊急事態対応訓練	2020年度 初期消火訓練
		2021年度 防火・防災訓練
		2022年度 地震発生対応訓練
10	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け
		②朝礼等にて啓蒙活動
11	化学薬品の管理	①SDSの入手配備と使用時教育の実施
		②購入履歴の把握
12	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定
		②納入品のグリーンマーク確認
13	SDGsへの取組み	①ちばSDGsパートナー登録制度への応募と活動の展開

2022年度 環境経営目標及び環境経営計画の主要なポイント

【環境経営目標】

- ① 生産量は、得意先の納入量の増加もあり、2021年度実績の5%増とします。
- ② 電気使用量は本社は現状維持とし新社屋での実績把握とします。  
工場は5%の増産ですが、原単位は前年実績の1%削減とします。
- ③ 灯油、軽油、ガソリン、LPGは前年度の原単位から1%の削減とします。
- ④ 水道、一廃、産廃は2021年度原単位実績を1%削減します。
- ⑤ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

【環境経営計画】

- ① テーマ毎の主な活動は前年度までの内容を継続します。
- ⑫ SDGsについての活動を展開します。

## Ⅶ. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用される主な環境法規は下記の通りです。

- \* 廃棄物処理法
- \* 資源有効利用促進法
- \* 特定家庭用機器再商品化法
- \* 家電リサイクル法
- \* 自動車リサイクル法
- \* 建設リサイクル法
- \* 騒音規制法
- \* 振動規制法
- \* 千葉県生活環境保全等に関する条例
- \* 消防法
- \* 自動車NOxPM法
- \* オフロード法
- \* 道路交通法
- \* 労働安全衛生法
- \* フロン排出抑制法
- \* 浄化槽法
- \* 水質汚濁防止法

2022年3月31日に環境関連法規等取りまとめ表に基づき違法性を評価しましたが問題はありませんでした。また、過去3年間行政からの指摘や指導もありませんでした。

## Ⅷ 代表者による全体評価と見直し・指示

2022年4月15日に2021年度の環境経営活動について代表者による全体評価と見直し・指示を行いました。その結果は以下のとおりです。

2021年度は、昨年の影響を跳ね返すような傾向もあり、生産量も増加になりました。

その結果、電気の使用量については目標を上回り未達成となりました。

又、軽油、灯油の使用量については目標を達成しましたが、ガソリンは僅か乍ら未達成でした。

一方、廃棄物は工場内レイアウト変更で大網分工場から9台の機械を移設したこともあり、一般廃棄物が多量に発生し未達成となりました。産廃は目標を達成しました。

以上よりEA21活動を通じて、節電・エコドライブ・節水活動が浸透していることを確認しました。

環境経営活動では新たにSDGsへの取り組みを開始し、社内PRとちばSDGs/パートナー登録制度への登録申請を検討しています。

当社は創業100年となったことを機にこの度本社社屋を更新することになりました。今年10月には完成予定です。2022年度は心新たに環境経営に全員一丸となって目標達成に向けて取り組みます。

尚、2022年度は2021年度実績から3ヶ年計画の環境経営目標の当初計画を一部見直して取り組みます。

① 環境経営方針	変更無し
② 環境経営目標及び環境経営計画	2022年度は2021年度に策定した新3ヶ年計画の環境経営目標を2021年度実績から一部改訂して取り組む。
③ 実施体制	組織を含めて変更なし